

第4次小金井市子ども読書活動推進計画 進捗状況

※【事業実績自己評価】欄における評価基準について

- A 計画どおりにできた
- B 概ね計画どおりにできた(事業目標をある程度達成したが、今後の改善、検討を要する)
- C できなかった

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由 及び 令和5年度以降の方向性、課題等
第3章								
1	家庭・地域の取組	(1) 家庭における読書環境の充実に向けた支援	0歳児から2歳児と保護者向けおはなし会の実施	図書館	読み聞かせや絵本を媒体としたコミュニケーションの大切さを啓発するために、0歳児から2歳児と保護者向けのおはなし会を継続的に実施します。	0歳児から2歳児と保護者向けおはなし会の回数 →4回	0歳児から2歳児と保護者向けおはなし会の回数 →10回	A 令和4年度は、新型コロナウイルス感染が拡大した令和2年度以降、3年ぶりに各回予定通り実施することができた。今後も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、0歳児から2歳児と保護者向けのおはなし会を継続的に実施する。
2		(2)地域における図書に関わる活動の充実に向けた支援	地域文庫やサークルなどへの支援の充実	図書館	地域でおはなし会などの図書に関わる活動に携わっている地域文庫やサークルなどの方々の活動を支援するため、団体貸出のサービスを実施します。	おはなし会を実施しているボランティア団体の団体貸出の利用団体数 →10団体 おはなし会を実施しているボランティア団体の資料の貸出冊数 →144冊	おはなし会を実施しているボランティア団体の団体貸出の利用数 →13団体 おはなし会を実施しているボランティア団体の資料の貸出冊数 →252冊	A 「小金井市立図書館基本計画」にてボランティアの名称をサポート者に変更することが明記されているため、令和4年度から「おはなし会サポーター」という文言を使用する。令和4年度は、前年度に比べて、おはなし会を実施しているサポーターの団体貸出の利用数、貸出冊数ともに増加した。今後も引き続き、地域でおはなし会などの図書に関わる活動に携わっている地域文庫やサークルなどの方々の活動を支援するため、団体貸出のサービスを実施する。
3	図書館の取組	(1)読書環境の充実	成長に合わせた図書の提供	図書館	子どもの成長に合わせた蔵書構成を保つため、図書購入費を維持または必要に応じて増額し、魅力ある選書及び図書の購入を行います。	児童書の購入冊数 →6,995冊	児童書の購入冊数 →8,554冊	A 令和4年度は、本館で市立小学校の学級に貸出している「団体貸出パック」について、他学年に比べてパック数が少ない6年生用パック追加作成のため、通常の購入分とは別に資料を購入した。また、全館を通して、リクエストが多い資料の追加購入や貸出が多い資料の買い替えを実施し、児童及びYAの資料購入冊数が増加した。今後も引き続き、「団体貸出パック」を追加作成し、読書の幅が広がるような支援を行うと同時に、魅力ある資料の充実・提供に努める。
4			展示図書の充実	図書館	季節の行事だけでなく工夫を凝らしたテーマ展示を行い、様々な図書を手に取ってもらえるように努めます。	テーマ展示の実施回数 →(実施回数)135回	テーマ展示の実施回数 →(実施回数)152回	A 令和4年度も、季節ごとのテーマ展示の他、ミニ展示、庁内他課や他団体との連携事業にあわせた展示等を行い、様々な図書を紹介することができた。今後も引き続き、季節の行事に加えて工夫を凝らしたテーマ展示を行い、様々な図書を手に取ってもらえるように努める。

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和5年度以降の方向性、課題等
5	図書館の取組 2 (1)読書環境の充実	コーナーの充実	図書館への親しみを感じてもらい、利用の拡充を図るため、児童書架及び乳幼児コーナー、YAコーナーの装飾や書架の見直しを行います。	図書館	児童書架などの装飾の実施館数 →(実施館)5館 児童書架などの書架の見直し 実施館数 →(実施館)2館	児童書架などの装飾の実施館数 →(実施館)5館 児童書架などの書架の見直し 実施館数 →(実施館)3館	A	令和4年度は、全館で、乳幼児コーナーや壁面等に、季節に合わせた装飾物を展示した。また、東分室及び緑分室では書架修繕を行い、誰もが利用しやすいよう児童書架の見直しを行った。今後も引き続き、児童書架及び乳幼児コーナー、YAコーナーの装飾や書架の見直しを行う。
6	(2)読書活動の支援	3歳から小学校低学年向けおはなし会の充実	図書や物語の世界に親んでもらい、図書館へ来館する習慣づけとなるよう、3歳児から小学校低学年向けに定期的なおはなし会を実施する。	図書館	3歳児から小学校低学年向けおはなし会の実施回数 →62回	3歳児から小学校低学年向けおはなし会の実施回数 →109回	A	令和4年度は、新型コロナウイルス感染が拡大した令和2年度以降、3年ぶりに各回予定通り実施することができた。実施に際して、引き続き、参加希望者数が多い場合は複数回に分けて実施するなど、密集を避けるよう対策を講じた。また、緑分室では、令和3年度に引き続き、サポーターによるおはなし会その他、Web会議アプリを使用した「オンラインでスペシャルおはなし会」を開催し、様々な方法で読書の楽しみを届けることができた。今後も引き続き、感染症対策を徹底しながら、3歳児から小学校低学年向けに定期的なおはなし会を実施する。

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び 令和5年度以降の方向性、課題等
7	図書館の取組	継続的なイベントの実施	読書の機会や図書館への来館のきっかけづくりとなるよう、様々な世代に向けたイベントや講座を継続して実施する。	図書館	乳幼児、小学生、中学生、YA世代など様々な世代に向けたイベントや講座の実施回数 →52回	様々な世代に向けたイベントや講座の実施回数 →91回	A	令和4年度は、工作会やおたのしみ会の他、中学生及び高校生、大学生の職場体験学習等の受入や、子どもと読書に関する講座等を行い、様々な世代に向けたイベントや講座の実施回数が増加した。 今後も引き続き、状況にあわせて実施方法や定員等の見直しを行い、様々な世代に向けたイベントや講座を継続して実施する。 ※「様々な世代に向けたイベントや講座」には、まちたんけん等の他団体が主催するイベントにおいて、図書館が受入れを行ったものを含む。
8		子どもの図書館運営への参加	図書館がよりお気に入りの空間となるよう、YAサポーターの活動などによって図書館の運営に携わってもらいます。	図書館	YAサポーターの活動(貫井北分室のきたまちYAひろばの実施回数と参加人数) →(実施回数)4回、 (参加人数)11人	YAサポーターの活動(貫井北分室のきたまちYAひろばの実施回数と参加人数) →(実施回数)5回、 (参加人数)16人	A	令和4年度も、小学校高学年から25歳程度のYAサポーター同士、テーマごとに、おすすめの本を持ち寄り、紹介しあうなどの活動を行った。 今後も、図書館がよりお気に入りの空間となるよう、YAサポーターの活動などによって図書館の運営に携わってもらう。
9		(2) 読書活動の支援	配慮が必要な子どもへのサービスの充実	外国語を母語とする子どもや、特別な支援を必要とする子どもの豊かな読書活動の支援のため、外国語絵本や点字絵本などの図書を選定するとともに、必要な体制について検討します。	図書館	点字絵本やLLブック(やさしく読みやすい本)などハンディキャップのある子ども向けの図書の購入冊数 →13冊 外国語絵本など外国語を母語とする子ども向けの図書の購入冊数 →78冊	点字絵本やLLブック(やさしく読みやすい本)などハンディキャップのある子ども向けの図書の購入冊数 →10冊 外国語絵本など外国語を母語とする子ども向けの図書の購入冊数 →89冊	A
10	(3) 学校及び関係施設との連携	市立学校などへの団体貸出の充実	各学級で読書の機会を身近に感じ、また、授業で必要とする図書の提供を支援するため、団体貸出パックなどの資料をそろえるとともに、より利用しやすい貸出や配本のシステムを研究します。	図書館	学級文庫貸出の貸出冊数 →15,067冊 調べ学習貸出の貸出冊数 →753冊	学級文庫貸出の貸出冊数 →17,863冊 調べ学習貸出の貸出冊数 →1,143冊	A	令和4年度も、図書館ホームページ等による市立小学校の学級に貸出している団体貸出パックの周知の他、6年生用パックを追加作成し、各小学校への利用希望への対応、パック利用の拡充に努めた。また、学級文庫貸出とあわせて調べ学習貸出を周知したことで、調べ学習貸出の貸出冊数が増加した。市教育研究会小中合同図書館部との交流会の書面審議、市立小中学校図書室司書との交流会を開催した際、調べ学習の希望資料や学級文庫の団体貸出のご意見をお聞きした。 今後も、団体貸出パックなどの資料をそろえるとともに、インターネットを活用しながらより利用しやすい貸出や配本を研究する。

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和5年度以降の方向性、課題等
11	図書館の取組 2 (3) 学校及び関係施設との連携	幼稚園、保育園などへの絵本などの貸出	幼稚園、保育園などの子どもと関わりのある諸機関に、絵本や紙芝居などを貸出し、子どもたちがより良い図書に触れられる機会が増えるように努めます。	図書館	読み聞かせ絵本リストの配布部数 →400部 子どもと関わりのある諸機関への団体貸出の冊数 →2,936冊	読み聞かせ絵本リストの配布部数 →1,500部 子どもと関わりのある諸機関への団体貸出の冊数 →2,590冊	A	令和4年度は、「読み聞かせ絵本リスト」について、子どもの成長段階に合わせた本選びの参考となるよう、未就学児向けリストを改訂し、発行した他、健康課の3～4か月児健康診査受診者に配布しているブックスタートバックに同封した。また、幼稚園、保育園などの子どもと関わりのある諸機関に、団体貸出を実施した。 今後も、幼稚園、保育園などの子どもと関わりのある諸機関に、絵本や紙芝居などを貸出し、子どもたちがより良い図書に触れ読書を楽しむ機会が増えるように努める。
12		学校及び関係施設への訪問の実施	図書や図書館職員に親しみを持ってもらうため、学校や小金井市児童発達支援センター「きらり」などの施設への訪問による読み聞かせやブックトークを実施します。	図書館	小学校1年生向けの学校訪問の実施回数 →9校37回 小金井市児童発達支援センター「きらり」などの施設への訪問 →0回	小学校1年生向けの学校訪問の実施回数 →9校34回 小金井市児童発達支援センター「きらり」などの施設への訪問 →1回	B	令和4年度も、令和3年度に引き続き、市立小学校1年生のクラスごとに学校訪問を実施した。「きらり」について、施設側と協力しながら新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じ、訪問読み聞かせを実施した。今後も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、学校や小金井市児童発達支援センター「きらり」などの施設への訪問による読み聞かせやブックトークを実施する。
13		図書館見学・職場体験の受入れ	図書館をより身近に感じてもらうため、図書館見学や職場体験の受入れを行っていることを周知し、受入れの体制を整えます。	図書館	図書館見学及び職場体験の受け入れ回数 →12回	図書館見学及び職場体験の受け入れ回数 →30回	A	令和4年度は、本館で読書クラブの図書館見学、希望のあった学校の小学校2年生のまちなんけんの授業にて受け入れた他、本館、緑分室、東分室で、中学校2年生等の職場体験の受け入れを行った。 今後も地域と協力・連携しながら、図書館見学や職場体験の受け入れを行っていることを周知し、受入れの体制を整える。
14		関係各課との情報共有	学校及び関係施設との関係を密にし、子どもの読書活動の推進について連携を行うため、交流会などの場を設け、情報共有を図ります。	図書館	情報の交換や共有の場としての交流会の開催回数 →1回	情報の交換や共有の場としての交流会の開催回数 →2回	A	令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、市教育研究会小中合同図書館部との交流会の書面審議、市立小中学校図書室司書との交流会を開催した。図書館の児童行事取組を報告した他、図書館からと市教育研究会小中合同図書館部及び市立小中学校図書室司書からの質問を取りまとめ、相互に回答した。 また、市立小中学校図書室司書との交流会では、議題を踏まえたグループワークを行い、市立図書館と学校図書室と連携してみたい取組や連携するための課題について意見交換をした。 今後も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、交流会などの場を設け、情報共有を図る。

No	取組		施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和5年度以降の方向性、課題等
15	図書館の取組	2	(4) 関係団体との連携	地域ボランティア団体との協働	図書館	ボランティア団体への講習会等の実施回数 →2回 ボランティア団体によるおはなし会の実施回数 →29回	ボランティア団体への講習会等の実施回数 →2回 ボランティア団体によるおはなし会の実施回数 →56回	A	令和4年度は、本館、貫井北分室で、おはなし会サポーター向け講座を実施した。 また、サポーターによるおはなし会については、新型コロナウイルス感染が拡大した令和2年度以降、3年ぶりに全館で概ね予定通り、実施することができた。 今後も、図書館とサポーターが協働して、読書を楽しみを届ける活動や、子どもたちが図書に触れる機会の充実に努める。
16				図書館資料の再利用	図書館	市内の保育園及び幼稚園、学校、地域ボランティアなどへの児童書のリサイクル図書配布冊数 →1,138冊	市内の保育園及び幼稚園、学校、地域ボランティアなどへの児童書のリサイクル図書配布冊数 →1,285冊	A	令和4年度、本館で市内の保育園及び幼稚園、学校、地域ボランティアなどへ児童書のリサイクル図書配布通知を送付し、リサイクル図書を1,285冊配布した。 今後も市内の保育園及び幼稚園、学校、地域ボランティアにリサイクル図書を提供する。
17	学校・学校図書館の取組	3	(1) 各市立学校での支援	読書をする機会の工夫と充実	指導室	始業前などを活用した読書時間を実施している校数 →12校 読書週間・読書旬間を実施した校数 →13校	始業前などを活用した読書時間を実施している校数 →14校 読書週間・読書旬間を実施した校数 →13校	A	始業前だけでなく中休みや昼休みを活用した読書時間の設定、読書週間など読書に親しむための期間の設定など、各校が実情に応じて工夫して実施しているためA評価とした。今後も各校の取組を共有する機会を設け、読書をする機会の充実を図る。
18				読書活動推進計画の整備	指導室	年間指導計画に位置づけ、前年度の取組に対する課題を改善した読書活動推進計画を作成することにより、充実した読書活動ができるようになります。	読書活動推進計画を策定している校数 →14校 読書活動推進計画を改善した校数 →14校	読書活動推進計画を策定している校数 →14校 読書活動推進計画を改善した校数 →14校	A

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和5年度以降の方向性、課題等
19	学校・学校図書館の取組 3 (1) 各市立学校での支援	地域との連携	ブックトークや読み聞かせ、図書整理や図書修理などのボランティア活動に、地域の人材の協力を得るよう働きかけます。	指導室	小学校での地域ボランティアによるブックトークや読み聞かせを実施している校数 →7校 学校図書館の図書整理業務や図書修理業務への地域ボランティアを活用している校数 →9校	小学校での地域ボランティアによるブックトークや読み聞かせを実施している校数 →7校 学校図書館の図書整理業務や図書修理業務への地域ボランティアを活用している校数 →9校	B	各校工夫しながらボランティアを活用しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、読書活動だけでなくボランティアを十分に活用しきれていない実情があるため、B評価とした。今後は、各校の実情に応じたボランティアの導入を検討していきたい。
20		各学校図書館の整備	蔵書の充実を図るとともに、配架の工夫や推薦図書コーナーの設置などを行います。また、学校関係者との情報交換を行い、蔵書の充実を図ります。	学務課・指導室	学校図書館の図書資料の充実(学校図書館の図書資料の決算額、購入冊数) →(決算額)7,812,850円 (購入冊数)4,299冊 推薦図書コーナーなどの展示や装飾の充実(推薦図書コーナー設置校数) →14校	学校図書館の図書資料の充実(学校図書館の図書資料の予算額、決算額、購入冊数) →(予算額)8,417,000円 (決算額)8,510,053円 (購入冊数)4,490冊 推薦図書コーナーなどの展示や装飾の充実(推薦図書コーナー設置校数) →14校	A	【図書資料や図書の購入については学務課】 図書担当の教員だけでなく、図書委員や学校図書館支援員を活用するなど、各校の実情に応じて工夫して装飾等を行い、学校図書館の環境整備を図っているため、A評価とした。今後も各校の取組を共有する機会を設け、環境整備の充実を図る。
21		学校図書館支援員の配置	学校図書館支援員の配置を拡充し、学校図書館が円滑に運営できるように努めます。	指導室	学校図書館支援員の配置日数 → 小学校9校 週3日 中学校5校 週2日 学校図書館支援員と教諭の連携による子ども読書活動支援(学校図書館支援員と教諭の担当者会の開催回数) →0回	学校図書館支援員の配置日数 → 小学校9校 週3日 中学校5校 週2日 学校図書館支援員と教諭の連携による子ども読書活動支援(学校図書館支援員と教諭の担当者会の開催回数) →0回	B	計画どおりに学校図書館支援員を配置し、学校図書館の円滑な運用を推進することができた。各校内では、図書担当の教員と学校図書館支援員の連携は十分に図っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、全校の学校図書館支援員と図書担当の教員による担当者会を開催することはできなかった。そのため、B評価とした。今後は、各校の実情に応じて連絡会の開催を検討していきたい。

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由 及び 令和5年度以降の方向性、課題等
22	読書活動と関わりのある生涯学習部署の取組	(1) 公民館	図書に触れるきっかけ作り	公民館	公民館主催講座で講座関連図書紹介の実施回数 →24回	公民館主催講座で講座関連図書紹介の実施回数 →61回	A	前年度よりも回数は増加している。今後も講座の内容・目的に合わせ、講座関連図書を紹介していく。
23			図書館との連携	公民館	公民館と図書館の連携事業の実施回数 →9回	公民館と図書館の連携事業の実施回数 →14回	A	東分館・貫井北分館では、公民館・図書館連携事業を実施している。今後も継続して実施していく。
24			情報提供の拡充	公民館	読書活動の関連記事の掲載や掲示板などで広報を行い、読書活動推進の啓発活動を行います。	読書活動に関連する広報の実施回数 →2回	読書活動に関連する広報の実施回数 →4回	A
25		(2) 生涯学習課	図書に触れるきっかけ作り	生涯学習課	放課後子ども教室で読み聞かせなどの実施回数 →11回	放課後子ども教室で読み聞かせなどの実施回数 →15回	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、室内より校庭での放課後子ども教室の開催が主体となり、実施回数が大きく増えなかった。
26	読書活動団体への支援		生涯学習課	読書活動実施団体などの社会教育関係団体への支援の実施回数 →2回	読書活動実施団体などの社会教育関係団体への支援の実施回数 →5回	A	申請・承認をされた団体は子どもに特化した活動を定期的に実施できた。	
27	子どもと関わりのある課横断的取組	(1) 保育園(保育課)	図書の充実	保育課	図書コーナーの充実(公立保育園の購入冊数) →239冊	図書コーナーの充実(公立保育園の購入冊数) →280冊	A	全園において在庫状況を鑑みながら絵本を購入することができ、絵本の充実が図れた。
28			読書環境の整備	保育課	園児の興味を引くようなコーナーの飾りつけや展示を実施した公立保育園の園数 →5園	園児の興味を引くようなコーナーの飾りつけや展示を実施した公立保育園の園数 →5園	A	全園において絵本の紹介コーナーを設けるなど、絵本に親しみの持てる環境づくりができた。

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和5年度以降の方向性、課題等	
29	子どもと関わりのある諸機関の取組	読書による親子のコミュニケーションの推奨	園だより、クラスだより、保護者懇親会などを通じて、家庭における親子読書を推奨します。	保育課	各種たより、懇親会にておすすめ本などを紹介した公立保育園の園数 →5園	各種たより、懇親会にておすすめ本などを紹介した公立保育園の園数 →5園	A	全園において、懇談会で保護者に本を紹介したり、クラスだより等で季節の絵本を紹介するなど、家庭での読書を推奨する取り組みを行った。	
30		(1) 保育園(保育課)	図書の本格的な利用	絵本、物語を取り入れた保育活動を推奨していきます。	保育課	大型絵本での読み聞かせなど園児の興味を引く保育の実施(公立保育園の大型絵本の所蔵冊数) →16冊	大型絵本での読み聞かせなど園児の興味を引く保育の実施(公立保育園の大型絵本の所蔵冊数) →20冊	A	園に大型絵本を所蔵していない園においても、近隣の図書館から大型絵本を借り子ども達と一緒に読んだり、日々の保育中やお誕生日会などでの読み聞かせを行うなど、本に親しむ機会を設けている。
31		絵本の貸出	絵本の貸出を行い、家庭で図書に触れる機会が増えるように努めます。	保育課	絵本貸出サービスの充実(公立保育園の絵本の貸出回数) →0回	絵本貸出サービスの充実(公立保育園の絵本の貸出回数) →880回	B	一部の園において、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら保護者への貸し出しを開始した。引き続き、感染症の状況を見て、対応を検討する。	
32		(2) 児童館、学童保育所(児童青少年課)	地域団体との連携	児童館において、紙芝居や読み聞かせを、地域の関係団体と連携して行っています。	児童青少年課	ボランティア団体によるおはなし会の実施回数 →22回	ボランティア団体によるおはなし会の実施回数 →24回	A	昨年度と比較し2回増えた。今後も読み聞かせ等の図書に触れる機会の充実に努めていく。
33		読書環境の整備	各館、各所の読書活動の実態に合わせた図書コーナーの整備を図ります。	児童青少年課	児童の興味を引くようなコーナーの蔵書見直しを行った施設数 →14施設	児童の興味を引くようなコーナーの蔵書見直しを行った施設数 →14施設	A	引き続き、蔵書の見直しを行い児童の興味を引く内容や時事や流行しているテーマを読むことのできるよう整えていく。	

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和5年度以降の方向性、課題等	
34	子どもと関わりのある諸機関の取組	(3) 子ども家庭支援センター（子育て支援課）	読書環境の整備 図書コーナーの整備を図ります。	子育て支援課	子どもの年齢・季節を考慮した絵本の配置（親子あそびひろばの蔵書冊数） →713冊	子どもの年齢・季節を考慮した絵本の配置（親子あそびひろばの蔵書冊数） →715冊	A	新しく絵本を購入し、年齢、季節を考慮した配置を心掛けた。親子が手に取りやすい環境作りを行っていききたい。	
35		読書による親子のコミュニケーションの推奨	親子読書、読み聞かせの場の提供と絵本の紹介を行います。	子育て支援課	年代に合わせた親子読書、読み聞かせにふさわしい絵本の紹介（親子あそびひろばで実施した絵本や紙芝居の読み聞かせ事業の実施回数） →25回387人	年代に合わせた親子読書、読み聞かせにふさわしい絵本の紹介（親子あそびひろばで実施した絵本や紙芝居の読み聞かせ事業の実施回数） →27回594人	A	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努めながらの実施となった。多くの親子に提供することができるよう今後も読み聞かせの場の充実を図っていききたい。	
36		(4) 保健センター（健康課）	読書による親子のコミュニケーションの推奨	3～4か月児健診の場で、読み聞かせを行い、絵本をプレゼントするブックスタート事業を通して、読書による親子のコミュニケーションの充実を図ります。	健康課	月齢に合わせた読み聞かせの実施（ブックスタート事業での読み聞かせ実施回数） →0回 ブックスタート事業の幅広い周知回数 →0回	月齢に合わせた読み聞かせの実施（ブックスタート事業での読み聞かせ実施回数） →0回 ブックスタート事業の幅広い周知回数 →0回	C	ブックスタート事業は、3～4か月児健診時にプレゼントした絵本をもとに、健診の待ち時間を利用して、ボランティアスタッフによる読み聞かせの仕方をレクチャーをする事業である。令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、ボランティア活動は中止とし、絵本のプレゼントのみとしたため、本来の目標には達していないが、図書館制作の「赤ちゃんと保護者向け読み聞かせ絵本リスト」と絵本を受診者にプレゼントした。令和5年度は、ボランティアスタッフと健診事業のタイミングを図りながら、活動再開の検討を進めたい。
37		(5) 障害者福祉センター、児童発達支援センター（自立生活支援課）	図書に親しむ機会の提供	閲覧用図書の整備や、読み聞かせにより図書に親しむ機会の提供を図ります。	自立生活支援課	興味を持ちやすい本の充実（きらりの児童書の蔵書冊数） → 414冊 子どもの様子に応じた読み聞かせの実施（きらりと図書館の連携回数） → 0回	利用者の特性に応じた本の充実（きらりの児童書の蔵書冊数） →645冊 発達段階に応じた読み聞かせの実施（きらりと図書館の連携回数） →1回	B	蔵書は子どもが興味を持ちやすい内容の本を増やすなど、発達に配慮を必要とする子どもたちが図書に触れるための環境整備が図られていると考えている。また、いただいた図書を有効活用し、蔵書の入れ替えを随時行っている。新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止していた図書館との連携事業である読み聞かせは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、年1回実施することができた。
38		(1) 図書館からの情報発信	ブックリストの作成	乳児向け推薦図書や、おはなし会で読んだ絵本をまとめたリストを作成し、子ども・保護者に読んでもらいたい図書についての情報を発信します。	図書館	「読み聞かせ絵本リスト」の配布期間 →令和3年4月23日（金）～令和4年3月31日（木） 「赤ちゃん向け絵本リスト」の配布期間 →令和3年4月1日（木）～令和4年3月31日（木）	「読み聞かせ絵本リスト」の配布期間 →令和4年4月23日～令和5年3月31日 「赤ちゃん向け絵本リスト」の配布期間 →令和4年4月1日～令和5年3月31日	A	図書館全館で、4月23日の子ども読書の日にあわせて未就学児向けの「読み聞かせ絵本リスト」を改訂し、配布した他、通年「赤ちゃん向け絵本リスト」を配布している。今後も子ども・保護者に読んでもらいたい図書についての情報発信に努める。

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び 令和5年度以降の方向性、課題等
39	啓発・広報などの推進 6 (1) 保育園 (保育課)	子ども向け地域資料の作成	小学生の児童が小金井市について調べる際の資料が不足しているため、子ども向け地域資料を作成し、地域の調べ学習に活用します。	図書館	「小金井わくわくたんていだん」の作成シリーズ数 →1巻	「小金井わくわくたんていだん」の作成シリーズ数 →1巻	A	小金井市立図書館では、小学校3年生以上を対象に、小金井市の子ども向け地域資料「小金井わくわくたんていだん」を作成している。令和4年度は、「縄文時代の小金井」をテーマに作成した。今後も子ども向け地域資料の作成、充実を図る他、地域の調べ学習に活用する。
40		インターネット・SNSの活用	図書館ホームページやTwitterを活用し、おはなし会や講座などの情報を広く発信し、必要としている保護者・子どもに届くよう更なる広報活動に努めます。また、おはなし会や講座などの実施に関して、インターネット活用の研究をします。	図書館	図書館ホームページ(子どものページ・YAのページ)を利用した情報発信の実施(図書館行事のHP更新回数) →131回 図書館Twitterを利用した情報発信の実施(図書館Twitterの情報発信回数) →122回	図書館ホームページ(子どものページ・YAのページ)を利用した情報発信の実施(図書館行事のHP更新回数) →155回 図書館Twitterを利用した情報発信の実施(図書館Twitterの情報発信回数) →168回	A	令和4年度は、おはなし会などの児童行事やテーマ展示のお知らせで、図書館ホームページやTwitterを活用することができた。また、本館では、児童行事のLoGoフォームによる受付を実施した。緑分室では、月1回のペースでWeb会議アプリを使用した「オンラインでスペシャルおはなし会」を開催した。貫井北分室では、児童行事等の申込に二次元コードを活用した。今後も様々な媒体によっておはなし会や講座などの情報を積極的に発信し、必要としている保護者・子どもに届くよう更なる広報活動に努める。
41		読書に関するイベント情報の発信	市立図書館を中心とした読書活動に関する各種行事の情報を市立小中学校や書店などの民間企業などと連携を図りながら普及啓発を図ります。	図書館	市立小中学校や書店への図書館イベントチラシの送付回数 →合計6回	市立小中学校や書店への図書館イベントチラシの送付回数 →合計12回	A	令和4年度は、貫井北分室で実施した児童対象の図書館イベントチラシの市立小中学校への送付、市内のコンビニエンスストアでの図書館イベントチラシの配置の他、市内の書店へ図書館イベントチラシを送付し配置したため、送付回数が増加した。今後も市立小中学校や書店などの民間企業などと連携しながら、各種行事の情報を周知し、普及啓発を図る。

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和5年度以降の方向性、課題等
42	啓発・広報などの推進	(1) 保育園 (保育課)	YA世代に向けた情報発信	図書館	YA世代向け広報誌の発行(「KITAMACHIユース」の発行回数)→4回	YA世代向け広報誌の発行(「KITAMACHIユース」の発行回数)→4回	A	令和4年度も、YA世代向け広報誌「KITAMACHIユース」を4回発行した。今後もYA世代に図書や読書についての情報が届けられるよう、定期的に広報誌を発行する。
図書館キャラクターの活用			図書館	図書館キャラクターの活用、図書館ホームページや図書館だよりなどを利用したキャラクターの活用回数→88回	図書館キャラクターの活用、図書館ホームページや図書館だよりなどを利用したキャラクターの活用回数→142回	A	令和4年度は、児童行事や館内掲示などで、図書館キャラクターを利用した。また、図書館ホームページやTwitter、図書館だよりでも図書館キャラクターを利用した。今後も図書館に親しみを持ち、読書活動の推進につなげるため、図書館キャラクターを活用する。	
44		(2) 各学校からの情報発信	学校図書館における広報活動	指導室	図書の紹介活動の実施(市立小中学校図書館での図書の紹介活動を紹介した回数)→全校で4回以上実施	図書の紹介活動の実施(市立小中学校図書館での図書の紹介活動を紹介した回数)→全校で4回以上実施	A	図書担当の教員だけでなく、図書委員や学校図書館支援員を活用するなど、各校の実情に応じて工夫して、図書の紹介活動を行っているため、A評価とした。今後も各校の取組を共有する機会を設け、図書の紹介活動の充実を図る。
45	読書感想文コンクールの実施		指導室	「読書感想文コンクール」を通して、児童・生徒が読書に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書に対する意欲の喚起と読書の習慣化を図るとともに、児童・生徒が読書後の印象や感動を文章で表現することにより、表現力の伸長を図ることに努めます。	「読書感想文コンクール」の実施(「読書感想文コンクール」参加者数及び表彰者数)→(参加者)1370人(最優秀・優秀賞表彰者)15人(入選)48人(佳作)165人	「読書感想文コンクール」の実施(「読書感想文コンクール」参加者数及び表彰者数)→(参加者)1081人(最優秀・優秀賞表彰者)14人(入選)54人(佳作)178人	A	読書感想文コンクール参加者数及び表彰者数については、一定程度の人数を維持しているため、A評価とした。引き続き、読書感想文コンクール参加を積極的に募集する。

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由 及び 令和5年度以降の方向性、課題等
第4章								
46	オリンピック・パラリンピック教育の推進	オリンピック・パラリンピックに関連した読書活動	各学校図書館に、オリンピック・パラリンピックの歴史や日本の伝統・文化、国際理解教育、障がいに対する理解を深める図書などの充実を図ります。	指導室	学校図書館でのオリンピック・パラリンピック関連テーマ展示の実施校数 →7校	学校図書館でのオリンピック・パラリンピック関連テーマ展示の実施校数 →7校	B	オリンピック・パラリンピックに関連した図書は各校に多数あるが、特別な展示コーナーを設置した学校は半数程度だったため、B評価とした。東京オリンピック・パラリンピックは閉幕したため展示コーナーの設置は難しいかもしれないが、各校の取組を共有する機会を設け、日本の伝統・文化、国際理解、障がい理解などのオリンピック・パラリンピック教育に関連した図書の紹介活動の充実を図る。
47	オリンピック・パラリンピックの取組	オリンピック・パラリンピック関連資料の紹介	子どもにもわかりやすいオリンピック・パラリンピックの歴史、過去の開催状況などを著した学習・参考図書の充実を目指します。	図書館	オリンピック・パラリンピック関連テーマ展示又はスポーツ関連テーマ展示の実施日と実施回数 →(実施日)【本館】(YA) 令和3年6月29日(火)～令和3年8月29日(日)(児童) 令和3年7月20日(火)～令和3年8月31日(火)(一般) 令和3年8月3日(火)～令和3年8月31日(火)、令和4年3月8日(火)～令和4年3月22日(火)【東分室】(YA) 令和3年7月1日(木)～令和3年9月30日(木)【緑分室】(一般) 令和3年7月1日(木)～令和3年7月15日(木)(児童) 令和3年9月22日(水)～令和3年11月22日(月)【貫井北分室】(一般) 令和3年6月30日(水)～令和3年9月5日(日)(一般) 令和3年7月22日(木)～令和3年7月27日(火)(児童) 令和3年7月22日(木)～令和3年8月31日(火)【西之台】(児童) 令和3年7月9日(金)～令和3年8月31日(火) (実施回数) 11回	オリンピック・パラリンピック関連テーマ展示又はスポーツ関連テーマ展示の実施日と実施回数 →(実施日)【本館】(YA) 令和4年9月27日(火)～令和4年11月6日(日) (実施回数) 1回	B	令和4年度は、本館で、オリンピック・パラリンピック関連テーマ展示を実施した。東京で開催されたオリンピック・パラリンピックが終了し、テーマ展示の実施回数が減少したことから、B評価とした。今後も子どもにもわかりやすいオリンピック・パラリンピックの歴史、過去の開催状況などを著した学習・参考図書の充実を目指す。